

修士課程研究指導一覧

修士課程 経済学専攻

コース名	研究領域名	専修名	指導教員名	日本語での指導	英語での指導	研究指導コード
経済学 コース	基礎理論	理論経済学	永田 良 教授			1
			荻沼 隆 教授		×	5
			荒木 一法 准教授			6
			田中 久稔 准教授			50
			笠松 学 教授			3
			笹倉 和幸 教授		×	4
			藤森 頼明 教授			2
		数理経済学	船木由喜彦 教授			7
		経済学説史	渡会 勝義 教授		×	11
			若田部昌澄 教授			13
	統計・計量分析	計量経済学	中村慎一郎 教授			9
			× 近藤 康之 教授	-	-	10
		統計学	西郷 浩 教授			14
		経済統計	野口 和也 教授		×	15
		数量経済政策	貞廣 彰 教授		×	22
			上田 貴子 教授			23
			金融工学	玉置健一郎 准教授		
	経済史	西洋経済史	鈴木 健夫 教授		×	18
			南部 宣行 教授			19
		日本経済史	清水 元 教授		×	17
			川口 浩 教授		×	16
		アジア経済史	本野 英一 教授			20
	経済政策	経済政策理論	鈴木興太郎 教授			48
			松本 保美 教授			21
		産業組織論	堀内 俊洋 教授		×	26
		農業経済学	堀口 健治 教授			25
		金融論	森 映雄 教授		×	31
			藪下 史郎 教授		×	32
		比較政治経済論	× 清水 和巳 准教授	-	-	59
	公共政策	社会政策	白木 三秀 教授			34
		社会保障	清水 英彦 教授		×	33
		労働経済学	村上由紀子 教授		×	35
		公共経済学	須賀 晃一 教授			8
		財政学	牛丸 聡 教授		×	37
			馬場 義久 教授		×	36
		環境経済学	× -	-	-	-
	国際経済	国際経済論	秋葉 弘哉 教授			28
			石井 安憲 教授		×	29
			× -	-	-	-
		開発経済論	深川由起子 教授		×	30
		国際政治経済学	小西 秀樹 教授			60
	国際政治経済学 コース	国際経済論	秋葉 弘哉 教授			38
			石井 安憲 教授		×	39
			× -	-	-	-
		開発経済論	深川由起子 教授		×	45
		国際政治経済学	小西 秀樹 教授			57
		経済政策理論	鈴木興太郎 教授			43
			松本 保美 教授			44
環境経済学		× -	-	-	-	
農業経済学		堀口 健治 教授			47	
比較政治経済論		× 清水 和巳 准教授	-	-	42	
数量経済政策	貞廣 彰 教授		×	41		
	上田 貴子 教授			58		

× : 2010 年度学生募集を行わない、 : 2010 年度 4 月入学のみ募集

研究指導・授業科目および担当教員については、変更となる場合があります。
 研究指導教員名に付されている「 」印の教員は2010年度嘱任予定です。
 研究指導教員名に付されている「 x 」印の教員は2010年度の学生募集は行ないません。
 研究指導教員名に付されている「 」印の教員は2010年度4月入学のみ募集します。
 原則、研究指導は日本語で行ないますが、外国人学生および外国学生に限り、希望する場合は「英語による指導」を受けることができます。ただし、希望している指導教員が必ずしも英語による指導を行なわないことがありますので、出願前に下表にて確認してください。

修士課程研究指導内容紹介

[経済学専攻 経済学コース]

研究指導名	理論経済学研究指導	担当	教授 永田 良
	ミクロ経済学の数学的方法		博士(経済学)早大・京大
研究テーマ	<p>近代経済学の理論的中核を構成する一般均衡理論が研究の中心を成す。研究講義では日進月歩の勢いで研究が進められているこの分野の発展過程をふまえた上で具体的にいくつかのトピックスを取り上げ立ち入った検討を行う予定である。</p> <p>志望学生は、特に一般均衡論とはいわないまでも少なくともミクロ経済理論に多大の関心を寄せるものであること、更に 研究指導上、数学的知識(しかも相当高度な)が大いに要求されるのでそれに堪えられるだけの能力、忍耐力を備えたものであることが望ましい。</p>		

研究指導名	理論経済学研究指導	担当	教授 荻沼 隆
	不確実性とゲームの理論		
研究テーマ	<p>経済理論、特に選択理論とゲーム理論の研究を、限定合理性と不確実性の観点を重視して行う。また、このような研究が市場理論や契約理論や組織の理論にどのような影響を及ぼすのかを考える。この研究指導では、このような研究関心に基づき適当なテキストおよび論文を読む予定である。</p> <p>志望学生は、ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論のある程度の予備知識と分析的な研究のための数学の基礎知識が要求される。</p>		

研究指導名	理論経済学研究指導	担当	准教授 荒木 一法
研究テーマ	<p>本研究指導は、ゲーム理論と契約理論に立脚した個人・集団行動の分析力を養成することを主たる目的とします。まず、ゲーム理論、契約理論、ならびにそれらの応用分野、オークション理論や交渉理論等に関する基礎知識を習得した上で、履修者が関心を持つ分野について論文を書くために必要な諸準備をすすめます。その際、特に、履修者の研究論文を正確に理解する力と、プレゼンテーション能力の向上を特に意識してゼミをすすめます。履修希望者には、大学院初級レベルのミクロ経済学の理解に必要な、学部レベルミクロ経済学ならびに数学・英語に関する一定水準の知識を備えて入学すること、教員および他の学生との議論に積極的に参加すること、将来の進路について明確なビジョンをもつこと、を求めます。</p>		

研究指導名	理論経済学研究指導	担当	准教授 田中 久稔
研究テーマ	<p>経済学の様々な場面で用いられる数学的・統計学的分析手法の基礎を学ぶ。受講生の関心に応じて、計量モデルの識別性、推定量の効率性や漸近特性などからトピックを選ぶ。ただし、数学的な内容よりも、経済学への応用が重視される。履修希望者には解析学・位相数学に関するある程度の知識が要求される。</p>		

研究指導名	理論経済学研究指導	担当	教授 笠松 学
研究テーマ	<p>生産と分配の理論、特に、交換と消費の理論から派生した分配理論との比較・検討に関心がある。</p> <p>これまで、例えば A New Guide to Post-keynesian Economicsなどをテキストにして、広く「ポスト・ケインジアン」と呼ばれる理論を検討してきた。来年度も類書あるいは適当な論文をテキストとして使用する予定である。</p>		

研究指導名	理論経済学研究指導 マクロ経済理論	担当	教授 笹倉 和幸 博士(経済学)(早大)
研究テーマ	<p>マクロ経済理論を研究する。扱う主なモデルとしては、伝統的なケインズモデルや、新古典派的な最適成長モデル、世代重複モデルである。最初の1年間で自分に合ったマクロ経済学の最新のテーマを探し、次の1年間で修士論文の完成に向けて研究することになる。</p>		

研究指導名	理論経済学研究指導	担当	教授 藤森 頼明 経済学博士(北大)
研究テーマ	<p>研究テーマは「資本理論の理論と応用」である。即ち、Ricardo、Marx以来、Sraffa、Post-Keynesian、レギュラシオン学派にわたる「分配と成長」の問題意識を理論的、実証的、実験的に、出来る限り多角的に検討したい。詳略については、指導教員のhomepageを参照のこと。</p>		

研究指導名	数理経済学研究指導 - ゲーム理論(発展)とその応用 -	担当	教授 船木由喜彦 理学博士(東工大)
研究テーマ	<p>ゲーム理論およびその応用の研究を行う。ゲーム理論は情報の経済学、産業組織論、国際経済学、環境経済学、経営学、政治学、社会学、生物学など多くの分野で用いられる重要な理論的分析手法である。相手が存在し相手も合理的な行動をとるということを前提に、個人の合理的な行動を厳密に定義することからはじめ、社会・経済など相互依存関係のある状況における各個人の合理的な意志決定およびその帰結を研究する。</p> <p>ゲーム理論は大別して非協力ゲームの理論(標準形・展開形ゲーム)と協力ゲームの理論(提携形ゲーム)に分けられ、両理論を並行して修得することが必要である。そのためには数理経済学研究、特論等の受講や大学院生向けセミナーへの積極的な参加が要請される。この研究指導ではこれらの知識をもとに、受講者の興味に従い、関連する論文の講読、研究、議論を行う。</p> <p>なお、ゲーム理論、ミクロ経済学の基礎的な知識、および、解析学、位相数学の初等的な知識を必要とする。</p>		

研究指導名	経済学説史研究指導	担当	教授 渡会 勝義
研究テーマ	<p>主な研究テーマは、イギリス古典派経済学（特に 19 世紀）とケインズ革命である。しかし研究指導はこの範囲にかぎらず、経済学史あるいは経済思想史研究を目指す者であればよい。英語の読解力は不可欠であり、大陸ヨーロッパの経済学史・経済思想史研究を目指す場合には、当然のことながら英語以外に当該のヨーロッパ言語の読解力を持っていなければならない。経済学史あるいは経済思想史の研究をするにはさまざまな知識と現代の経済問題に関心を持つことが必要であるので、広い知的関心と問題意識のある人の参加を期待する。</p>		

研究指導名	経済学説史研究指導 経済政策思想史入門	担当	教授 若田部昌澄
研究テーマ	<p>この研究指導では、歴史を題材にして経済知識と経済政策の接点を探る。その接点としては、経済学者の政策関与、経済知識の多様性（経済学者、エコノミスト、政治家、中央銀行総裁、官僚、メディアの経済理解）、政策決定過程の政治経済学といった多様な点が考えられる。この研究指導では思想史の観点を強調して政策における経済知識の役割を中心に考察する。研究の題材としては、マクロ経済、貿易、国際金融、産業組織、社会保障制度などいくつかの題材が考えられる。研究指導では参加学生の研究関心に応じて題材を絞る予定である。</p> <p>研究指導は基礎的研究文献の読解と討論、および学生の発表によって進めていく。また、可能な限り第一線の政策思想史研究者および政策担当者による特別講義も企画したいと考えている。</p> <p>参加を希望する学生には中級のマクロ経済学、マクロ経済学の知識と、英文文献を大量に読む読解力が必須である。</p>		

研究指導名	計量経済学研究指導	担当	教授 中村慎一郎 Dr. rer. pol (ボン大)
研究テーマ	<p>現実の経済現象に対し、経済理論を枠組みとして用いつつ、その対象についての知見と観察データを用い、有効な定量的な分析を行うことを目指した指導を行う。特に環境と経済に係わる関心を歓迎する。その場合、理論的枠組みとしては産業連関分析と需要理論が基礎的枠組みとして有効である。回帰分析と統計的推論を中心としたいわゆる計量経済学手法は後者に関連している。</p>		

研究指導名	計量経済学研究指導	担当	教授 近藤 康之 博士 (社会経済)(筑波大)
研究テーマ	<p>2010 年度は、特別研究期間制度のため、学生の募集は行わない。</p> <p>本研究指導の目的は、応用マクロ計量経済分析（産業連関分析を含む）および関連する計量経済理論的研究を行うことにある。応用分析対象の基礎となる経済理論の学習、関連先行研究の文献調査等、および研究科授業科目では扱われない計量経済学方法論について指導を行う。</p> <p>学部水準の計量経済学（例えば、山本拓『計量経済学』新世社（1995）程度）についての十分な知識と、より進んだ研究学習に必要な学部水準の基礎学力（経済理論、統計学、解析学、線形代数、確率論）の習得を前提とする。</p>		

研究指導名	統計学研究指導	担当	教授 西郷 浩
研究テーマ	<p>経済統計データの作成・分析に関する統計理論的研究</p> <p>本研究の目的は、経済統計データの収集・分析に関連する統計理論的・実証的研究をおこなうことにある。おもなトピックとして、標本調査論、リサンプリング法、回帰分析を主とした多変量解析法、時系列分析法などがあげられる。担当者（西郷）のもっとも得意とする分野は、標本調査論とリサンプリング法（とくにその標本調査論への応用）である。しかし、学生の希望に応じて他の分野も適宜とりあげる。</p> <p>統計分析には計算が不可欠であるから、コンピュータの利用は必須である。統計理論についても、少なくとも基礎的な知識（統計的推定・検定、最小二乗推定量など）をもっていることが望ましい。</p>		

研究指導名	経済統計研究指導	担当	教授 野口 和也
研究テーマ	<p>本研究では、統計学の理論的研究とその経済分析への応用を主題とする。本年度は回帰分析・多変量解析などを中心に研究を進める予定である。</p> <p>あらかじめ学部において、統計理論の基礎と経済学に関する幅広い知識を習得していることを前提とする。また、コンピュータの積極的な利用も不可欠である。</p>		

研究指導名	数量経済政策研究指導	担当	教授 貞廣 彰 経済学博士（京大）
研究テーマ	<p>本コースはマクロ実証分析を行う上での応用計量経済学を学ぶことを目的とする。前期においては時系列分析にかかるテーマをとりあげる。具体的には、定差方程式、定常時系列モデル、不均一分散（ARCH、GARCH）、トレンドを有するモデル、多変量時系列モデル、共和分と誤差修正モデル、基礎的な非線形モデルをとりあげる。</p> <p>また、後期においては、カルマンフィルターモデル、周波数分析、レジーム変化モデル（マルコフスイッチングモデル）、基礎的なカリブレーションモデルを取り上げる。</p> <p>なお、本研究のためには、学部レベルのマクロ経済学および、計量経済学をマスタしていることが不可欠である。また、汎用性ソフトである EVIEWS を購入する必要がある。</p>		

研究指導名	数量経済政策研究指導 家計行動の実証分析	担当	教授 上田 貴子 Ph.D. （ウィスコンシン大マディソン校）
研究テーマ	<p>本研究指導では、家計の労働供給・資源配分その他の行動を対象とした、マイクロデータ及びパネルデータによる実証分析を研究課題とします。実証分析のためには、関連分野の経済理論モデルの理解、統計・計量経済学の知識、及びコンピュータスキルが不可欠となります。研究指導では、（参加者の興味による）関連分野及び計量経済学手法の英語文献の輪読、関連データのサーチ、計量経済分析ソフトによるプログラミングと分析を行います。従って、幅広い分野での相当な学習量と実習時間を費やす覚悟を望みます。なお、パネルデータ分析以外の時系列分析手法は扱いません。</p>		

研究指導名	金融工学研究指導	担当	准教授 玉置健一郎 博士(理学)(早大)
研究テーマ	本研究指導では、従属性をもつデータの統計解析手法である時系列解析について学び、それらの手法を経済・金融データの分析に応用することを目的とする。実際には、関連分野の文献の輪読と、コンピュータによるデータ分析やシミュレーションを行う。さらに、本研究で必要となる数学および統計学の知識を同時に学ぶ。なお、研究成果である修士論文は英語で書くことが望ましい。		

研究指導名	西洋経済史研究指導	担当	教授 鈴木 健夫 博士(経済学)(早大)
研究テーマ	ヨーロッパ大陸諸地域の社会経済史的諸問題を検討する。史料の正確な解釈に依拠して豊かな歴史像を形成することを目的とする。そのために相互の厳しい切磋琢磨が望まれる。		

研究指導名	西洋経済史研究指導	担当	教授 南部 宣行
研究テーマ	第1次大戦までのイギリス社会経済史全般を主たる研究対象としており、資本輸出(対外投資)、生活水準、鉄鋼業(とくに南ウェールズ)等をめぐる諸問題を中心に検討している。但し、近年、第2次大戦以降の経済動向についても研究対象に加えている。方法論としては、歴史学の伝統的な実証的方法のみならず、とくに Historical Economics(歴史経済学、数量経済史)でとられている手法を積極的に取り入れていくこと、現代の諸問題との関連に関心があり、インターネットを利用する情報の交換・共有を積極的に推進したいと考えている。		

研究指導名	日本経済史研究指導 戦前期日本の経済的「南進」	担当	教授 清水 元
研究テーマ	明治期以降の日本資本主義の展開過程を東南アジアとの関わりの中で考察している。その際、日本と東南アジア各地だけでなく、植民地宗主各国をも含めた三当事者間の関係に焦点を当てることによって、近代日本の対東南アジア関係についてのより豊かな歴史像の構築を目指す。本研究指導では、とくに、植民地期の東南アジアに少なからぬ政治・経済的影響を及ぼしていたイギリスの公文書史料(The National Archives 所蔵)の解読を通して、戦前期日本の経済的「南進」の実態とこれに対する東南アジアならびに植民地宗主国の反応・対応を検討する。		

研究指導名	日本経済史研究指導	担当	教授 川口 浩
研究テーマ	本研究指導では、近世～近代における日本経済の実態、並びに日本経済の担い手たちの経済思想の歴史的分析を目指している。受講者は日本経済史・経済思想史に属する諸問題の中から自己の研究テーマを選択することができる。受講に際しては、日本経済史・経済思想史に関する学部授業程度の基礎的知識を習得していることが必須であり、さらに近年における研究成果に一通り目を通していただくことが望ましい。また、隣接諸領域に対する幅広い関心を保持することも大切である。歴史研究では、史料の収集と解読という地道な作業が求められることを付言しておく。		

研究指導名	アジア経済史研究指導	担当	本野 英一 教授
			D. Phil. (オックスフォード大)
研究テーマ	<p>日清戦争前夜から中華人民共和国成立直後にかけての中国とイギリス、日本、アメリカとの経済関係史を主たる研究対象としている。単なる外交史だけでなく都市経済、中国商人団体（ギルド、商会等）や在華外国企業を主体とする生産要素市場、国家財政の歴史的特徴への歴史的理解を深めることを目標とする。従って中国語で書かれた史料はもとよりイギリス・アメリカ側外交文書を解読し、論文が書ける能力を培うことを要求する。</p>		

研究指導名	経済政策理論研究指導	担当	特任教授 鈴村興太郎
			経済学博士（一橋大）
研究テーマ	<p>この演習では、経済政策の基礎理論を学ぶ目的で、以下のような講義とそれに基づく討議を行う予定である。参加者には、ミクロ経済理論に関する十分な素養、論理的に問題を突き詰める思考の能力と意思、多数の参照文献を精密に読む努力を求めたい。</p> <p>第1講 制度と政策の社会的選択 第2稿 多数決投票の逆理とアローの一般不可能性定理 第3講 厚生経済学の新と旧 第4講 社会的選択の情動的基礎：厚生主義とその批判 第5講 厚生と権利：厚生主義を越えて 第6講 選択機会の内在的価値 第7講 選択手続きの内在的価値 第8講 競争・厚生・自由 第9講 責任と補償のパラダイム 第10講 次善の厚生経済学 第11講 世代間衡平性の厚生経済学 第12講 規範的経済学と経済システムの設計</p>		

研究指導名	経済政策理論研究指導 経済政策のための基礎理論の研究	担当	教授 松本 保美
			D. Phil (オックスフォード大)
研究テーマ	<p>本指導は、時間の制約と重要性の面から、社会的選択理論を中心とした基礎理論の研究に的を絞る。基礎理論の上に経済理論が構築され、その上で経済政策が立案されるからである。日本語の文献が殆どない上に、数理論理学と集合論を駆使した定理の証明が中心になるので、参加者には英語と数学の素養が求められる。ミクロ経済学とゲーム理論の知識のあることが望ましい。いわゆる経済政策論や分析は一切扱わないので注意のこと。本講義は全て英語で行われる。</p>		

研究指導名	産業組織論研究指導	担当	教授 堀内 俊洋
研究テーマ	<p>今日、日本だけでなく世界各国とも、システムの見直しや新しい政策が求められている。その場合、もちろんマクロ政策は重要であるが、適切なマクロ政策とあわせて、規制緩和や構造改革に象徴されるように、ミクロ政策の運営がとりわけ重要になっている。このような問題意識から、研究指導目標は、主には日本の特定の産業や活動を選び、そのダイナミックな変化を実証的に考察し、論文にまとめることである。産業組織論はミクロ経済学の応用であることはいまでもなく、産業組織論はある程度の理論や数学を必要とするが、論文を完成させるためにはそれだけでなく制度や実態について幅広い素養を身に付けようという態度も要求される。数学的な素養や努力がなければ産業組織論の理解は困難だが、モデルだけで現実の興味深い現象を説明できないこともまた事実だからである。このような幅広い興味と能力を身につけようという学生諸君の熱意と精進があれば、論文は自ずと完成されるだろうと思います。</p>		

研究指導名	農業経済学研究指導 - 農業政策、土地政策、食料政策を対象に -	担当	教授 堀口 健治 農学博士（東大）
研究テーマ	<p>土地所有の性格、機能の理論的・実証的分析を主たる研究課題としている。日本の戦後の地価上昇期と資本蓄積との対応や、バブル崩壊も含めての土地政策の吟味はその一環である。農業問題の基底には土地問題があり、発展途上国の農地改革も含めて、農業政策をその角度から研究することが必要であろう。計画経済の破綻も、集団所有と土地利用との矛盾に起因する。土地問題、農業問題を扱うが、食料問題や食料政策も対象とする。</p>		

研究指導名	金融論研究指導	担当	教授 森 映雄
研究テーマ	<p>わが国においても金融革新が急速に進展し、金融制度・構造等も大きく変容してきている。特に「日本版ビック・バン」により資金運用・調達の流れ＝金融システムも変容しよう。そうした中で貨幣と経済の「つながり」についても理論的・政策的に視点をかえて分析する必要がある。主に、マクロ経済分析視点から金融理論および金融政策に関して考察してゆきたい。なお、上級マクロ経済学および上級ミクロ経済学を修得していることを望みます。</p>		

研究指導名	金融論研究指導	担当	教授 藪下 史郎 Ph. D. (イェール大)
研究テーマ	<p>本講義においては、非対称情報また不完全市場に注目しながら金融市場と銀行行動に関係する諸問題を考察し分析する。それらの問題はミクロ経済学的側面とマクロ経済学的側面の両方をふくんでいる。</p> <p>したがってミクロ経済学とマクロ経済学をマスターしていることが望まれる。</p> <p>さらに金融制度に関して理論的かつ歴史的 analysis を行うが、今後の研究のために計量分析手法が有用である。</p>		

研究指導名	政治経済学方法論研究指導	担当	准教授 清水 和巳
			Doctrat de Théorie Economique Université de Grenoble II
研究テーマ	2010年度は、特別研究期間制度のため、学生の募集は行わない。		

研究指導名	社会政策研究指導	担当	教授 白木 三秀
			博士(経済学)(早大)
研究テーマ	本研究指導では、外部労働市場および内部労働市場で生起する労働諸問題ならびにそれへの対応としての労働諸政策の理論的、実証的研究を幅広く行う。幅広く行うということは、国際比較研究を含み、また企業内の人的資源管理の研究もこれに含めることを意味する。当該分野における問題意識が強く、地道なフィールドワークを厭わない活力に富む人材の参加を歓迎する。		

研究指導名	社会保障研究指導	担当	教授 清水 英彦
研究テーマ	高齢化とグローバル化が進行する中で、福祉国家においては社会保障制度改革が共通の課題となっている。そこで本研究指導では、社会保障制度の歴史的展開を基礎におきながら、理論的あるいは実証的な方法により社会保障制度を経済学的に分析することを目指す。とくに福祉国家における社会保障制度改革が意味するものを、その経済的効果を分析することにより明らかにしたい。		

研究指導名	労働経済学研究指導	担当	教授 村上由紀子
			博士(経済学)(早大)
研究テーマ	労働経済学と労働問題 - 理論的・実証的研究 -		

研究指導名	公共経済学研究指導	担当	教授 須賀 晃一
			経済学博士(一橋大)
研究テーマ	この講義では、修士論文作成のための基礎力養成を目的として、公共経済学の理論に関する基本文献を輪読する。具体的な研究テーマとしては社会的選択、制度設計と価値理念、租税論、社会保障論、環境問題などの領域を考えている。中級程度のミクロ経済学(数学的手法も含む)の修得を前提として講義を進める。開講時までに、スティグリッツ『公共経済学』(上,下)東洋経済新報社,2003,2004年.を読んでおくこと。 参考文献:J. Hindriks and G. D. Myles, <i>Intermediate Public Economics</i> , MIT Press, 2006. B. Salanie, <i>Microeconomics of Market Failures</i> , MIT Press, 2000. A. L. Hillman, <i>Public Finance and Public Policy</i> , Cambridge UP, 2003		

研究指導名	財政学研究指導 社会保障財政・税制・地方財政	担当	教授 牛丸 聡 博士(経済学)(東大)
研究テーマ	<p>本コースの目的は、財政学を研究することである。財政学は様々な話題を含んでいる。例えば、税金、国債、政府支出、社会保障、地方財政等々である。そのなかでも、私は特に社会保障制度に関心をもっている。</p> <p>本修士(博士前期)課程において財政学を研究しようと思う学生は、ミクロ・マクロ経済学、公共経済学等々に関する必要な知識を習得していることを求められる。加えて、研究に対する強い意欲と努力が求められる。</p>		

研究指導名	財政学研究指導	担当	教授 馬場 義久
研究テーマ	<p>私の主要な関心は租税論・税制論にあるが、本研究指導は、財政学の領域に属する問題全般を対象とする。修士課程入学を志す諸君にあつては、あらかじめ、財政学のうちのどの領域のどの問題を自己の研究テーマとするのか、さらにどのような方法で研究を進めるのか、明確にしておいてほしい。そして、今日の財政学は諸君が想像する以上に応用経済学としての性格を強めているので、学部段階の財政学はもとより、基礎的なミクロ経済学とマクロ経済学をマスターしていることが肝要である。</p>		

研究指導名	環境経済学研究指導	担当	未定
研究テーマ	2010年度は、学生の募集は行なわない。		

研究指導名	国際経済論研究指導	担当	教授 秋葉 弘哉 Ph. D. (ニューヨーク州立大)
研究テーマ	<p>国際経済学のうち、特に開放マクロ経済学を中心に研究する。開放マクロ経済学は閉鎖マクロ経済学の開放版という側面ももっているから、閉鎖マクロ経済学についての基礎的知識をもっていること、並びにそのマイクロ・ファウンデーションについても十分理解していることが極めて望ましい。</p>		

研究指導名	国際経済論研究指導	担当	教授 石井 安憲 経済学博士(一橋大)
研究テーマ	<p>国際寡占による直接投資、貿易、生産、環境汚染と戦略的最適政策</p> <p>経済の結びつきが国際化した今日においては、様々な経済問題を国際的視点から把握し分析する能力が要請される。本研究指導では、一年目は、かかる能力を開発するため、貿易・直接投資と地球規模での環境劣化、国際寡占と戦略的貿易政策、国際的経済摩擦等に関する国際経済問題に関する優れた論文を研究し、そして、二年以降は、国際経済に関する研究課題を選択し修士論文を完成しなければならない。学生諸君は、中級程度のミクロ経済学および数学的手法を修得していることが必須である。</p>		

研究指導名	開発経済論研究指導	担当	教授 深川由起子
研究テーマ	<p>変遷めまぐるしい経済開発論は英語圏では南西アジア、アフリカなどをフィールドとし、「市場メカニズムの機能不全」を前提とした応用ミクロ経済分析が主流となっている。他方、日本や東アジアでは多くの「卒業国」の経験から外向き開発戦略に関心が集中し、国際経済学やマクロ分析からの接近が主流となっている。演習では前半で市場分断、労働移動、家計、信用市場など一通り主流の考え方を学ぶ。その上で、後半では経済的テイクオフを終え、工業化が加速する東アジア経済の実証研究を踏まえつつ、貿易、直接投資、援助、債務問題、構造調整、経済統合などと開発の諸問題に取り組み、両者の発想の違いにも理解を深めることを目指す。学部レベルのミクロ経済学、国際経済学を履修済みであること、英語にハンディにないことが望ましい。</p>		

研究指導名	国際政治経済学研究指導	担当	教授 小西 秀樹 経済学博士（東大）
研究テーマ	<p>公共経済学、公共選択論を基礎として、政策決定のメカニズムとその帰結、あるべき制度の構築について、理論的あるいは実証的に研究する者を対象とする。本研究指導のタイトルは「国際政治経済学」だが、研究内容は「新政治経済学」であり、国際政治や国際経済に特化したテーマとは基本的に無関係なので注意するせよ（研究テーマの例としては、たとえば小西秀樹「公共選択の経済分析」（東大出版会）を参照せよ）。教材には最先端の英文論文や大学院レベルの英文テキストを用いるので、それらを読みこなすのに最低限必要なレベルの経済学、数学についての知識、および英語力を持っていることが必要である。経済学については、ミクロ経済理論、非協力ゲーム理論、計量経済学の基礎を、学部上級レベルで一通り習得していること、数学については、実数解析、線形代数、最適化理論について、最低限、理科系の大学受験レベルで習得していることを受講生に求める。</p>		

[経済学専攻 国際政治経済学コース]

研究指導名	国際経済論研究指導	担当	教授 秋葉 弘哉 Ph. D. (ニューヨーク州立大)
研究テーマ	<p>国際経済学のうち、特に開放マクロ経済学を中心に研究する。開放マクロ経済学は閉鎖マクロ経済学の開放版という側面ももっているから、閉鎖マクロ経済学についての基礎的知識をもっていること、並びにそのマイクロ・ファウンデーションについても十分理解していることが極めて望ましい。</p>		

研究指導名	国際経済論研究指導	担当	教授 石井 安憲 経済学博士(一橋大)
研究テーマ	<p>国際寡占による直接投資、貿易、生産、環境汚染と戦略的最適政策</p> <p>経済の結びつきが国際化した今日においては、様々な経済問題を国際的視点から把握し分析する能力が要請される。本研究指導では、一年目は、かかる能力を開発するため、貿易・直接投資と地球規模での環境劣化、国際寡占と戦略的貿易政策、国際的経済摩擦等に関する国際経済問題に関する優れた論文を研究し、そして、二年以降は、国際経済に関する研究課題を選択し修士論文を完成しなければならない。学生諸君は、中級程度のミクロ経済学および数学的手法を修得していることが必須である。</p>		

研究指導名	開発経済論研究指導	担当	教授 深川由起子
研究テーマ	<p>開発経済論の主要な理論、及びその変遷を理解するため前期はPranab Bardhan、Udry Christopher の Development Microeconomics (邦訳：開発のミクロ経済学、東洋経済新報社 2001年) で市場分断、労働移動、家計、信用市場など一通り主流の考え方を学ぶ。その上で、後期以降では経済的テイクオフを終え、工業化が加速する東アジア経済の実証研究を踏まえつつ、貿易、直接投資、援助、債務問題、構造調整、経済統合などと国際経済開発のアプローチをとることとする。</p>		

研究指導名	国際政治経済学研究指導	担当	教授 小西 秀樹 経済学博士（東大）
研究テーマ	<p>公共経済学、公共選択論を基礎として、政策決定のメカニズムとその帰結、あるべき制度の構築について、理論的あるいは実証的に研究する者を対象とする。本研究指導のタイトルは「国際政治経済学」だが、研究内容は「新政治経済学」であり、国際政治や国際経済に特化したテーマとは基本的に無関係なので注意するせよ（研究テーマの例としては、たとえば小西秀樹「公共選択の経済分析」（東大出版会）を参照せよ）。教材には最先端の英文論文や大学院レベルの英文テキストを用いるので、それらを読みこなすのに最低限必要なレベルの経済学、数学についての知識、および英語力を持っていることが必要である。経済学については、ミクロ経済理論、非協力ゲーム理論、計量経済学の基礎を、学部上級レベルで一通り習得していること、数学については、実数解析、線形代数、最適化理論について、最低限、理科系の大学受験レベルで習得していることを受講生に求める。</p>		

研究指導名	経済政策理論研究指導	担当	特任教授 鈴木興太郎 経済学博士（一橋大）
研究テーマ	<p>この演習では、経済政策の基礎理論を学ぶ目的で、以下のような講義とそれに基づく討議を行う予定である。参加者には、ミクロ経済理論に関する十分な素養、論理的に問題を突き詰める思考の能力と意思、多数の参照文献を精密に読む努力を求めたい。</p> <p>第1講 制度と政策の社会的選択 第2稿 多数決投票の逆理とアローの一般不可能性定理 第3講 厚生経済学の新と旧 第4講 社会的選択の情動的基礎：厚生主義とその批判 第5講 厚生と権利：厚生主義を越えて 第6講 選択機会の内在的価値 第7講 選択手続きの内在的価値 第8講 競争・厚生・自由 第9講 責任と補償のパラダイム 第10講 次善の厚生経済学 第11講 世代間衡平性の厚生経済学 第12講 規範的経済学と経済システムの設計</p>		

研究指導名	経済政策理論研究指導 経済政策のための基礎理論の研究	担当	教授 松本 保美 D. Phil（オックスフォード大）
研究テーマ	<p>本指導は、時間の制約と重要性の面から、社会的選択理論を中心とした基礎理論の研究に的を絞る。基礎理論の上に経済理論が構築され、その上で経済政策が立案されるからである。日本語の文献が殆どない上に、数理論理学と集合論を駆使した定理の証明が中心になるので、参加者には英語と数学の素養が求められる。ミクロ経済学とゲーム理論の知識のあることが望ましい。いわゆる経済政策論や分析は一切扱わないので注意のこと。本講義は全て英語で行われる。</p>		

研究指導名	環境経済学研究指導	担当	未定
研究テーマ	2010年度は、学生の募集は行なわない。		

研究指導名	農業経済学研究指導 - 農業政策、土地政策、食料政策を対象に -	担当	教授 堀口 健治 農学博士（東大）
研究テーマ	土地所有の性格、機能の理論的・実証的分析を主たる研究課題としている。日本の戦後の地価上昇期と資本蓄積との対応や、バブル崩壊も含めての土地政策の吟味はその一環である。農業問題の基底には土地問題があり、発展途上国の農地改革も含めて、農業政策をその角度から研究することが必要であろう。計画経済の破綻も、集団所有と土地利用との矛盾に起因する。土地問題、農業問題を扱うが、食料問題や食料政策も対象とする。		

研究指導名	政治経済学方法論研究指導	担当	准教授 清水 和巳 Doctrat de Théorie Economique Université de Grenoble II
研究テーマ	2010年度は、特別研究期間制度のため、学生の募集は行わない。		

研究指導名	数量経済政策研究指導	担当	教授 貞廣 彰 経済学博士（京大）
研究テーマ	<p>本コースはマクロ実証分析を行う上での応用計量経済学を学ぶことを目的とする。前期においては時系列分析にかかるテーマをとりあげる。具体的には、定差方程式、定常時系列モデル、不均一分散（ARCH、GARCH）、トレンドを有するモデル、多変量時系列モデル、共和分と誤差修正モデル、基礎的な非線形モデルをとりあげる。</p> <p>また、後期においては、カルマンフィルターモデル、周波数分析、レジーム変化モデル（マルコフスイッチングモデル）、基礎的なカリブレーションモデルを取り上げる。</p> <p>なお、本研究のためには、学部レベルのマクロ経済学および、計量経済学をマスターしていることが不可欠である。また、汎用性ソフトである EVIES を購入する必要がある。</p>		

研究指導名	数量経済政策研究指導 家計行動の実証分析	担当	教授 上田 貴子 Ph.D. (ウイスコンシン大マディソン校)
研究テーマ	<p>本研究指導では、家計の労働供給・資源配分その他の行動を対象とした、ミクロデータ及びパネルデータによる実証分析を研究課題とします。実証分析のためには、関連分野の経済理論モデルの理解、統計・計量経済学の知識、及びコンピュータースキルが不可欠となります。研究指導では、(参加者の興味による) 関連分野及び計量経済学手法の英語文献の輪読、関連データのサーチ、計量経済分析ソフトによるプログラミングと分析を行います。従って、幅広い分野での相当な学習量と実習時間を費やす覚悟を望みます。なお、パネルデータ分析以外の時系列分析手法は扱いません。</p>		